

---

# ドS王女とドM？の英雄さん

白祈

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ドS王女とドM？の英雄さん

### 【Nコード】

N4895Z

### 【作者名】

白祈

### 【あらすじ】

ドSな王女様とドMな英雄が繰り広げる理不尽？wな物語。

王女に虐められるうちに英雄がおかしくなってしまう。(。 1

11)

くドMが出来るまでく（前書き）

S M ネ タ が 嫌 い な 方 は 控 え て く だ さ い 。

## くDMが出来るまで

俺は、世界を守るために命懸けで旅に出て行った。そして無事に目的を果たした俺を待っていたのは……

「ひざまず 跪け、この愚物ども！」

おーほっほっほっ、と甲高く嘲笑う声。

今、俺の目の前で嘲笑っているのはアヤメという、この国の王女様。見事に輝く銀色の長髪を煌びやかなアクセサリーでまとめている。ドレスも高級品で、黙って扇を口元にかざしていれば世界で一番の美貌と言えるのだが……。

「何をしている、阿呆めが。跪けとこの私が命令しているのよ！有難く跪きなさい！」

「……うう」

もうお分かりだろうが、DSである。性格が最低だ。

……ちなみに、うう、と泣く手前で唸ったのは俺だ！そして、この世界を魔王から救ったのも俺だ！本来ならば、ここで、

『英雄さん、あなたがいなければこの世界は終わっていましたが、ありがとうございます……』

なんて風に王女が涙ながらに俺に感謝し、ハッピーエンドという展開をどっかの漫画で見たことがある気がする。しかし、現実はそう甘いものではない。

「私がこの国を治めてやっているのよ！ゴミのくせに生きていてごめんなさいと土下座しなさい！」

「いや、世界を救ったのは俺なんですけど……」

「お黙りっ！」

「は、はい……」

どうしても敬語になってしまう。隣の家臣からの視線も冷え切ったものだし、泣きたくなってきた。尊大に振る舞う……あれ、ど

うした俺。なんか王女の方が100倍素晴らしい気がしてきたぞ？

ちなみに俺の顔をそこそイケているらしい。その顔に、トマトが飛んできた。（避けたのだが）玉座を囲うように優美な曲線をえがいていたアーチや、ふかふかの絨毯にトマトの赤い液が、飛び散った。

すると王女は、

「ああっ！なんてこと！あなた、私の宮殿を汚したわね？」

「そうだそうだー（棒読み）」「弁償だー（これでまた王女のおかげで儲かる）」「わっ、こりゃ終わっただな、かわいそー（同情して泣きかけ）」

王女の言葉に続け、家臣からの言葉も心に深々と突き刺さる。俺、なんか悪いことしたっけ？まさか、避けるのが悪かったのか？嗚呼、なんたる理不尽。あれ、どうした俺。なんか慣れてきちゃったぞ？

「それより、クズのくせに英雄気取っているんですってね？あははっ、笑っちゃう」

笑う姿が可愛いのがまた気に食わない。いや、罵倒して幸せそうに笑う王女が可愛すぎる。萌え死にそう。あー、この顔見れるんだったら、もつと罵倒してくれてもいいんだよ？王女様よお……ってバツ（。 111）俺は何を考えてるんだよ！これじやあ俺が変態みたいじゃなかああああ！！！！

「あれ……、黙っちゃった。ま、当然よね！虫ケラが喋る方が生命の神秘だったのよね！おーほっほっほっ！！」

「負けました」

「はあ？」

「出来れば、もうちょっとだけ冷たくしてもらえますか」

「ちよっ、何コイツキモイ！w」

「そんな感じで頼めますか！」

「え、やめて、来ないで！！衛兵、ちよっとコイツをつまみ出してちよっだい！」

あれ、俺、何言ってるんだ？ちよ、衛兵やめろ！牢獄に英雄  
を入れるなんて、国民が許さないぞ！？

「うわあああああああああああ………」

～ドMが出来るまで～（後書き）

次は、王女と英雄の立場？みたいなものを変えてみようかなと考えておりますw

読んでいただけたらなと思います。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4895z/>

---

ドS王女とドM?の英雄さん

2011年12月16日19時02分発行